

ラ フォレ セ ラ ヴィー 森こそ命ー



# La Forêt, C'est la Vie !



ブルキナファソ・パム県で、土壌の肥沃度をアップさせる伝統的な技術である石堰を設置しています。大きな石を運び数キロにわたり並べる作業は大変な時間と労力を要します。大人も子どもも、幼児を連れたお母さんも、村人総出で手伝います。（詳しくは P3 参照。）

## 日本国内で緑のサヘルの活動を知ってもらうために

緑のサヘルは、近年、国内活動の充実に力を入れています。チャド、ブルキナファソ、タンザニアにおける環境保全や生活改善支援は、長年の地道な努力が現地の方々に受け入れられ支持を得ていますが、この活動を日本国内の方々に報告・広報する機会はまだまだ多いとは言えません。また、緑のサヘルは数少ないスタッフで働いているため、出来るだけ現場のニーズに柔軟に応えられるよう、現場活動に手一杯にならざるをえません。

これまで、緑のサヘルは多くの支援者の方々に支えられて活動を行ってきました。広報になかなか時間をかけられないスタッフに代わり、自ら私たちの活動を宣伝してくださる方や募金活動をしてくださる方々のおかげで、知らず知らずのうちに賛同してくださる方が増えていきました。

アフリカへの関心は今後も高まる可能性を秘めています。私たちスタッフがこれまで行ってきた講演やイベント等の国内活動の幅を更に広げて、長い間私たちを支えて下さっている方はもとより、今までアフリカとは全く縁のなかった方にも、現地の砂漠化の現状や乾燥地域の人々の生活など、今アフリカで起きていることを伝えていかなければならないと感じています。そして、より多くの方にアフリカを身近に感じてもらうため、楽しいアフリカ、豊かな文化、美味しい料理も同時に紹介していきたいと考えています。

（現地調整員 竹越久美子）

## 2008年を振り返って

緑のサヘル 代表理事 岡本敏樹

各地から紅葉の便りが届く季節になりました。木々の葉が色濃くなるとともに、今年もあとわずかという感慨を深めています。

昨今広がりを見せていた「環境」への関心が、今年は大きな盛り上がりを見せたと思います。各方面に深刻な圧力となった石油価格の高騰と関連して、これまでの生活スタイルを見直すという文脈の中で「エコ」が注目され、「温暖化対策」が話題になりました。この流れは、7月に洞爺湖で行われた G8 サミットによって、より強固なものになったように思います。一方で、温暖化は学問的・国際的な会議で話し合われることが多く、ともすれば手の届きにくい巨大な問題という印象を与えがちですが、身近なところで行われる啓発・広報活動によって、生活から環境を考えるという見方が次第に浸透してきているように感じます。

また、5月に開催された TICAD4（第4回アフリカ開発会議）によって、「アフリカ」も社会の注目を集めたと思います。平和と安全、開発と貧困、環境、人権などの課題の解決を目指した国連ミレニアム開発目標を見据え、アフリカ諸国の抱える課題について話し合われました。日本政府からは、食糧の増産と経済・インフラ整備に対する支援が提案されました。アフリカ諸国への支援は、これまでの開発支援から経済開発支援に力点が変わる、というメッセージだと思います。

これらの動きを受け、「環境」と「アフリカ」は、近年に無いほど日本社会のキーワードになりました。東京事務局では、アフリカでの植林に関して、電話やメールによるたくさんの問い合わせがあり、また毎年訪問を受ける中学校の修学旅行生からも、これまでにない突っ込んだ質問を多く受けました。例年は「国際協力」というテーマで講演をする機会が多いのですが、今年は「環境」に関連した内容で依頼を受けることが多くありました。

さて、現地のブルキナファソでは、今年は雨季の降雨が順調だったことから、豊作となりました。世界的な食料価格高騰の影響を受け、各地でデモやストライキが発生するなど、生活不安を反映した動きが目立った中で、際立って明るい知らせとなりました。また、今年から同国中央北部にあるバム湖周辺地域で自然管理事業を始めましたが、その取り組みが穀物栽培に効果的だったと住民から評価されたことは、嬉しい限りです。タンザニアでは、今年が5ヵ年事業の折り返し地点にあたり、さまざまな見直しが必要となりました。10年を超えるキャンプ生活を送ったルワンダからの難民も故郷へ帰還し、キャンプが次々と閉鎖されています。これからは、より地域の人々の生活に近づいた働きかけが必要となるでしょう。チャドは、相変わらず先行きが不透明な状況が続いていますが、時折届く現地の協力者からのメールには、不安定な中でもしっかりと生き抜こうとする人々の力強さを感じています。

秋は実りの季節ですが、その実りは次の充実を無条件に約束するものではありません。緑のサヘルは足元の一步一步を踏みしめながら、着実に歩んできたと思いますが、ともすればその視線は下を向きがちだったのではないかと感じています。運営、活動とも、より充実した団体を目指し、目の前の現実を見つめながらも先を見据える目線を持って、踏み出していこうと思います。





## ＜バム県コングシ地域小学校緑化支援＞

2008年度の支援校5校において植林された苗は、生徒が不在となる7月から9月までの夏休みの間、父兄が苗木の世話をしていました。この期間は雨季のため灌水の必要はないのですが、雑草がよく茂るため除草をしなければなりません。また、野放しにされている家畜が苗木を食べないように、防護柵の設置も必要となります。頑丈で安定する柵を作るために灌木の枝を利用し、それぞれの苗木に設置しました。

新学期が始まると今度は児童達が苗の世話をする番です。10月から乾季



父兄が作った囲いに保護された苗木に、児童が水遣りをしています。

に入ると雨が降らなくなるため、毎日灌水をしなければなりません。学校によっては児童一人に一本の苗を担当させたり、各クラスで当番を決めたりして水を遣っています。

児童、教員、父兄が熱心にこの事業に取り組んでいるため、どの学校でも苗木は順調に育っています。しかし大変なのは乾季が始まってから。サヘル地域の乾燥は苗木にとって、とても厳しいものです。皆が志気を下げずに維持管理をすることで立派な木に成長し、児童たちのいい思い出になるはずです。



コラ小学校の苗木の様子

## ＜バム湖周辺地域自然管理プロジェクトに関わる村人の紹介♪♪＞

バム湖の西湖畔に程近いヤルゴ村に、シセ・ラスマーニさんという村人がいます。このプロジェクトを担当する村の委員会のメンバーの一人です。

以前から彼は農業に従事していますが、近年自分の畑の表土が流されて土地が痩せ、収穫量が減少しています。そのため同じ問題を抱える村人を数人集め、表土の流亡を食い止める石堰の技術を試すことにしました。村にある岩を砕いたり、埋まっている石を掘り起こしたりして石を集め、それを畑の中に等高線に沿って積み並べていきます。しかしヤルゴ村には大きな石が少ないため、小規模にしかできませんでした。

そして今年、緑のサヘルが、同じ石堰の技術を支援することになり、シセさんはこれまで独力でやってきたことを、今度は村人と連携し大規模に出来るということで、プロジェクト委員会のメンバーに立候補をしました。

石堰の設置が5月に実施され、村から約7km離れたところから石をトラックで運び、7本の石堰が設置されました。7月にはソルガム(モロコシ)、ミレット(ドウジンビエ)、トウモロコシ等がサイトに播種されました。

石堰の効果や降雨が良好だったことから作物はよく成長しており、今年は豊作が期待できます。シセさんはこの結果に大変満足しており、これからも続けていきたいと力強く語っていました。



シセ・ラスマーニさん



畑に設置された石堰

## チャドから



### ＜軍事衝突と物価高騰が住民に及ぼす影響への懸念＞

チャド共和国は、外務省による退避勧告・渡航延期が続いています。今年の2月に起こった首都ンジャメナでの反政府勢力による攻撃は、政府側をかなり追い詰めるほどの激しいものでした。この後、6月にもチャド東部において軍事衝突が発生しましたが、首都へ向けて移動することはなく、沈静化しました。東部にあるアベシエにいる協力者からも、同市では被害が無かったと聞きました。一方、首都における軍の規制と昨今の物価高騰によって、市民生活が圧迫されていないか懸念して

います。

反政府勢力は内部で統一が取れておらず、そのため散発的な軍事行動を繰り返し、不安定な状況を生み出しています。このような状況が長引けば、疲弊していくのは一般の住民です。1999年に行われた大統領選挙のおり、「デビーと共に21世紀へ」というスローガンの下、繰り広げられた選挙運動は、明るい希望を示していたように思います。それが幻想に終わってしまわないように、一日も早い安定の復旧を願っています。

## タンザニアから



### ＜難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業＞

この事業は2007年4月に開始され、1年半が経過しました。育苗や植林活動は、タンザニアの協力団体 REDESO の豊富な経験のおかげで順調に進んでいます。最近では村の環境委員会も独自にミーティングを設けるなど、環境意識も高まりつつあります。

昨年ムグンズ村に植えた3種類のマメ科の苗木25,000本は、アカシアマンギウムだけはシロアリの被害を受けてしまいましたが、他の2種は残存率90%（下の表参照）となり、10ヵ月後の9月には2メートルを越えるほどまでに成長していました。今年は、ムグンズ村とクムセンガ村の2村で合計25,000本の苗木を生産し、11月に植えられる予定です。



ムグンズ村の苗畑



ムグンズ村の畑の中の植林

2005年、タンザニア西部のキゴマ州キボンド県には、5つのブルンジ難民キャンプが設置されていました。しかし、ブルンジ情勢が安定へ向かい、2006年から難民の帰還とともにキャンプの閉鎖も進み、2008年9月に全ての難民キャンプが閉鎖されました。難民流入以降、治安の悪かったこの地域ですが、今後はどの団体も難民支援だけでなく地域の発展を第一に考えて支援をしていかなければならない時期にきています。

| 樹種         | 面積     | 植栽数   | 残存数   | 枯死数   | 残存率    |
|------------|--------|-------|-------|-------|--------|
| アケルパス      | 4.5 ha | 2,682 | 2,365 | 317   | 88.2 % |
| アカシア・マンギウム | 1.5 ha | 816   | 262   | 554   | 32.1 % |
| カン         | 4.0 ha | 2,448 | 2,286 | 162   | 93.4 % |
| 合計         | 10 ha  | 5,946 | 4,913 | 1,033 | 82.6 % |

\* 生産された25,000本の苗木のうち、5,946本が写真の植林地に植えられ、残りは希望する村人に配布されました。

# 国内活動



「第4回アフリカ開発会議」(5月)や「G8洞爺湖サミット」(7月)に関連したイベントがひと段落し、8月には毎年恒例となっている岩手県講演が実施されました。また、10月は修学旅行の時期でもあり、いろいろな県の中学生たちが東京事務所を訪問してくれました。

## < 東京事務局での主な活動一覧 >

- 8月7日(木) 第4回アフリカ開発会議 NGO ネットワーク/外務省 定例会 出席(岡本)
- 8月22日(金) 岩手県葛巻町立江刈中学校(1~3年) 講演(菅川)
- 8月24日(日) JICA(国際協力機構) トークイベント コメンテーター(岡本)
- 8月25日(月) 岩手県岩手町立沼宮内小学校(4年) 講演(菅川)
- 8月26日(火) 岩手県柳沢コミュニティーセンター 講演(菅川)
- 8月28日(木) 岩手県教職員組合いわい支部学習会 講師(菅川)
- 8月29日(金) 岩手県一関市立折壁小学校(3・5年) 講演(菅川)  
岩手県一関市立上折壁小学校(5・6年) 講演(菅川)
- 10月2日(木) 第4回アフリカ開発会議 NGO ネットワーク 定例会 出席(岡本)
- 10月5日(日) 鮫島有美子チャリティーコンサート (\*詳細は次ページ)  
(「アフリカで木を植えている日本青年を支援する会」主催)
- 10月9日(木) アフリカ日本協議会 連続公開セミナー 講師(岡本)
- 10月20日(月) 和歌山県紀の川市立那賀中学校(3年) 事務所訪問(岡本)
- 10月23日(木) 岩手県盛岡市立下橋中学校(2年) 講演(菅川)(\*詳細は次ページ)  
埼玉県鳩ヶ谷市立里中学校(3年) 事務所訪問(岡本)



## ★★ 新スタッフ・インターン紹介 ★★

### 鈴木 香織(すずき かおり)、プログラム・コーディネーター

9月下旬より緑のサヘルに新しく加わり、主に広報や経理、総務などの事務局運営業務に携わっております。経験豊富で個性豊かなサヘルメンバーに囲まれ、充実した時間を過ごしながら、アフリカにおける農村開発についての知識・経験を積み、緑のサヘルと共に成長していけたらと思っております。宜しくお願い致します。



### 道格通(とくとーん)、インターン(写真左)

念願でした国際協力が緑のサヘルで体験出来ることになりまして、非常にありがたく思っております。この貴重なチャンスを出来るだけ有効に生かしたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

### 中込 美加恵(なかごめ みかえ)、インターン(写真右)

インターンとして、出来ることからどんどんお手伝いしていきたいです。これから多くのことを吸収できると思うととても楽しみです。これからどうぞ宜しくお願いいたします。





## チャリティーコンサート開催！

10月5日（日）、大阪府池田市民文化会館において国際的なソプラノ歌手、鮫島有美子さんによるチャリティーコンサートが開催されました。日本の調べや世界のメロディー、クラシック等々、ご主人でもある世界的ピアニスト、ヘルムート・ドイチュさんの伴奏に合わせて流れる美しい歌声に、会場を埋め尽くした約1000人の聴衆はすっかり魅了されていました。



美しい地球を子や孫たちとともに守ろう

本日は「緑のサヘル」を支援するための鮫島有美子ソプラノ・リサイタルにご来場いただきましてありがとうございます。「緑のサヘル」のみなさんは、過酷な環境の中で、宮々とアフリカ人の砂漠化を防ぐために、現地の人々と植樹活動をつづけ、それを私どもも支援しながら17年の年月がすぎました。

このたびも池田市をはじめ各方面ならびに多くの方々のご協力をいただき、ご来場のみなさまの厚いご支援のもと、鮫島有美子ソプラノ・リサイタルを開催できまして感謝しております。このリサイタルの収益はすべて「緑のサヘル」活動資金として寄付いたします。ありがとうございました。

平成20年10月5日

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会

代表 坪居 壽美子

事務局 〒563-6002 池田市白旗4-21-10

TEL FAX 072-7661008

当日のパンフレットには緑のサヘルの紹介も掲載されました。

また、会場ロビーでは緑のサヘルスタッフによる活動パネルの展示と紹介、民芸品やカレンダーの販売が行われました。いずれも多くの方が関心を持って下さり、中には募金やカンパをして下さる方もいる等、スタッフ一同、本当に励まされました。

このコンサートの主催者のひとつ「アフリカで木を植えている日本青年を支援する会」（代表・坪居壽美子さん）の皆様からは16年にわたって、チャリティーバザーなどを通じて多大なるご支援をいただいておりますが、今年もまたコンサートの終了後、募金と収益から計1,023,000円が緑のサヘルに寄付されました。

ご来場の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のご厚意は、私ども緑のサヘルが責任を持ってアフリカの人々にお届け致します。



## 下橋中学校の取り組み



去る10月23日（木）、盛岡市立下橋中学校の2年生92名に対する講演が行われました。

下橋中学校と緑のサヘルの交流は10年以上にわたっており、毎年のように当団体スタッフによる学校講演や生徒達による事務所訪問が行われています。また、同校では生徒会が中心となって募金を行うなど、当団体への支援を続けています。

今年は事務局長の菅川が下橋中学校の皆さんの修学旅行滞在先のホテルまで赴き、お話をさせていただきました。皆、熱心に話に聞き入り、現地の状況や活動の様子について多くの質問がなされました。講演の終了後には生徒たちの募金が、「ブルキナファソへの緑化支援」に対する寄付として手渡されました。下橋中学校の皆さん、本当にありがとうございました。

# ありがとうございました

## 【 新規会員のみなさま 】

加藤 正好

## 【 継続会員のみなさま 】

菊地 博子／矢野 友一郎・正代／榎本 雅子／福川 佐代／丸山 タミエ／北川 華子／  
本多 れい子／藤巻 晴行／竹内 信／佐賀 明子／徳永 美和子／田辺 諄児

## 【 ご寄付を頂きました 】

小枝 清子／賀川 麻衣／鈴木 勝／碓井 道子／村上 和代／田中 京子／  
小千谷国際交流協議会 小池 和明／常瀬 憲五／小池 昌子／山崎 徹也／橋口 日出夫／榎本 みつ枝／  
永井 寛子／武知 ハルミ／小林 伸張／高松 千枝子(TESS)／高野 賢一・小山 彩子／美野 弘子／  
田辺 諄児／加藤 正博／江刺 和弘／イルブード 絵美子／後藤 弘子／田中 京子／坪居 壽美子／  
杉本 敏行／亘 友子／石黒 勇平／梅田 暢子／佐々木 順平／斎藤 せい子／佐藤 裕美／川村 清子／  
板垣 千恵子／三浦 敦／瀬戸 義子／(株)ジョンソンコントロールズ オートモーティブシステムズ 吉川様・  
鳥居様／INAX／聖カピタニオ女子高等学校 2 年 E 組／個別教育フォレスト／Kato グリーンウッド基金／  
盛岡市立下橋中学校生徒会／アスコット／内藤 真子／他匿名をご希望の方 3 名 (敬称略、確認順)

上記は 2008 年 8 月 1 日から 2008 年 10 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、  
お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2008 年 11 月 1 日以降にご支援下さいました方については、  
次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみ  
を掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

## 【 08 年の協力団体・助成団体 】

(財)毎日新聞東京社会事業団／(社)国際農林業協働協会  
(社)日本経済団体連合会 自然保護協議会／(財)国際緑化推進センター／(社)国土緑化推進機構

## 写真を提供しました

- (株)ダイナックス都市環境研究所  
『エコライフチェックで地球温暖化対策！エコライフチェックをやってみよう！』(ビデオ)
- (株)丹青社：洞爺湖ビジターセンター『エコ・ギャラリー』展示用
- (株)オフィス 201
- (株)キョウエイアドインターナショナル「エコプロダクツ東北 2008」
- (株)ミュール
- FUJITSU ユニバーシティ
- 神奈川学園中学・高等学校
- サクセス・プロデュース：TOKYO MX「どうする？東京」
- 東京都庁「C40 気候変動東京会議」資料
- 主婦と生活社「第二回家事検定公式ガイド・模擬問題集」
- 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

# おしらせ

## 緑のサヘル 2009年オリジナルカレンダー ★ 好評販売中 ★



2009年のカレンダーをお探しではありませんか？

緑のサヘルでは、写真家小松義夫さんの協力を得て作製したオリジナルカレンダーを販売中です。西アフリカの素朴な写真に癒されます。

最終ページにはアフリカの地図も掲載され、どの国の写真なのかひと目で分かります。

- 1部1000円（送料200円）で30本の苗木を植えることができます。

ご注文を希望される方は、当団体ホームページ、メール、電話、ファックスで受け付けております。

### 【目次】

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1・・・表紙          | 5・・・国内活動&スタッフ紹介 |
| 2・・・2008年を振り返って | 6・・・国内活動        |
| 3・・・ブルキナファソから   | 7・・・ありがとう       |
| 4・・・チャド・タンザニアから | 8・・・お知らせ        |

### < 編集後記 >

●銀杏を頂きました。そのせいばかりではありませんが、イチョウの木の下を通ると、葉色の変化を愛でるよりも、おいしそうだと感じてしまう自分がいます。（岡本） ●今年も現地の方々に喜んでいただける素晴らしい活動を、たくさん実施することができました。皆様に心よりお礼申し上げます。（菅川） ●帰国して東京事務局で働くようになってから皆様の暖かいご支援・ご声援を肌で感じています。（竹越） ●ブルキナで SIAO（アフリカ民芸品市）が開催され大盛況でした！（町） ●5年間の米国滞在を経て、8月に帰国しました。久しぶりの日本の秋の味覚を満喫しています。これからは、鍋の季節が楽しみです。（鈴木）

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

### ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなどハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表にございます。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】 郵便振替用紙にご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振り込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

|   |             | 関東 信越        | 関西    | 中国    | 四国    | 北海道   | 沖縄    |
|---|-------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|   |             | 北陸 中部<br>南東北 | 北東北   |       |       | 九州    |       |
| A | アイス10個      | 3,800        | 3,900 | 4,010 | 4,110 | 4,210 | 4,420 |
| B | アイス20個      | 6,400        | 6,500 | 6,610 | 6,710 | 6,810 | 7,020 |
| C | チーズ         | 3,800        | 3,800 | 3,800 | 3,800 | 3,800 | 3,800 |
| D | アイス / ケーキ2種 | 3,800        | 3,900 | 4,010 | 4,110 | 4,210 | 4,420 |
| E | ムース         | 4,930        | 5,030 | 5,140 | 5,240 | 5,340 | 5,550 |
| F | ケーキ         | 4,930        | 5,030 | 5,140 | 5,240 | 5,340 | 5,550 |
| G | カレー / チーズ   | 5,000        | 5,100 | 5,210 | 5,310 | 5,410 | 5,620 |
| H | ケーキ2種       | 3,230        | 3,330 | 3,440 | 3,540 | 3,640 | 3,850 |
| I | カレー         | 3,580        | 3,680 | 3,790 | 3,890 | 3,990 | 4,200 |
| J | チーズ / ソーセージ | 5,730        | 5,830 | 5,940 | 6,040 | 6,140 | 6,350 |

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

詳細チラシをお送りいたします。

## La Forêt, C'est la Vie ! Vol. 36

編集 岡本敏樹 菅川拓也 竹越久美子 町慶彦 鈴木香織/発行 菅川拓也/発行所 緑のサヘル/印刷 社会福祉法人東京コロニー

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤三ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041

Home Page : <http://www.jca.apc.org/~sahel/> E-mail : [sahel@jca.apc.org](mailto:sahel@jca.apc.org)